

## 「準天頂衛星に関するプロジェクトチーム」にて示された論点のうち 国土交通省に検討が求められている論点

### 論点 1 GPS 等他国の測位衛星に依存する場合のリスク分析と対応

- 1-1. 各国が整備する測位衛星の民生用信号が使用不可能になった場合に、どのような問題点が想定されるか。
- ケース 1：すべての測位衛星からの信号が、予告なく数時間程度受信できない。  
ケース 2：すべての測位衛星からの信号が、予告なく数日程度受信できない。  
ケース 3：すべての測位衛星からの信号が、予告なく数週間程度受信できない。

### 論点 2 我が国測位衛星システムの公的利用や民間サービス等の政策的な評価

- 2-1. [具体の個別分野毎に] 我が国測位衛星システムの公的サービスの利用可能性や民間サービスでの活用等につき、所管官庁として、どのように評価するか。
- 2-2. 個別の公的サービス及び民間サービスについて、論点 2-1 の検討結果により、政策的に取り組むべきと判断された場合、6 ケースのうち、それぞれのサービスごとにどのケースが必要と考えられるか。また、利用の前提となる技術スペックとして新たな機能・要件の追加が必要となる場合には、その機能・要件はどのようなものか。
- 2-3. 各省庁の所掌に係る分野において、我が国測位衛星システムの技術スペックに示される、①GPS の補完機能、②補強機能、③簡単なメッセージ送信(SMS)、④双方向通信、⑤秘匿化の機能の活用により、具体的にどのような新規産業やビジネスが創出される可能性があるか。また、どの程度の市場創出効果が見込まれるか。
- 2-4. 上記の個別新規産業やビジネスの創出や既存の GPS 利用産業の高度化を支援する上で、政策的な支援策は必要か。

### 論点 3 国際展開の在り方

- 3-1. 測位衛星を活用した高度サービスや関連設備機器に係る標準化を、測位衛星システムを保有する国が中心になって目指している中で、我が国の機器・サービスの国際展開を進める上で、我が国が測位衛星システムを有する意義を政策的にどう評価するか。
- 3-2. アジア太平洋地域での準天頂衛星の利用可能性をどう評価するか。
- 3-3. 我が国測位衛星システムを活用した機器・サービスの海外展開可能性について、どう評価するか。

### 論点 4 我が国測位衛星システムの構成の在り方

- 4-2. 欧州と同様に、測位衛星と衛星航法補強システム(MSAS)機能を有する静止衛星との連携を含め全体構成のあり方の検討。